

## 下迫間のシデコブシ自生地 (関市天然記念物)

シデコブシはモクレン科モクレン属の落葉樹で、同科同属のコブシとタムシバの交雑によって誕生したと考えられています。春先に白色から薄紅色の花を咲かせ、たくさんの花弁が放射状に開いている姿が御幣ごへいに付けられた紙垂しでに似ているところからシデコブシの名がついたといわれています。

日本列島固有の種で、分布は東海地方に限られていますが、日当たりの良い湿地に生えるため、開発などで伐採されやすく、現在は絶滅危惧種に指定されています。市内でもこれまで数箇所の自生地が確認されています。

コブシに比べて小ぶりなので、別名ヒメコブシとも呼ばれますが、春先(3～4月)に可憐な花を咲かせた姿はとても美しく、見る人の心を和ませてくれます。

# 関の文化財探訪

## その33

関の「文化財」を紹介します。

照会先 文化財保護センター ☎ 46-2313

### アクセス

県道勝山山田線沿い(関市～坂祝町境付近)  
関工業団地より、東に3kmほど  
株式会社マツバラ関工場地内  
(迫間字大下1番地1)

※場所などの詳しくは(株)マツバラ担当者  
(☎ 090-6808-5272)へお尋ねください。

※見学の際は、(株)マツバラ社員駐車場を  
ご利用ください。



▲関市の天然記念物に指定



▲咲き始め

広報せき No.1626 2013.4.1